

就任年頭のあいさつ



雲南広域連合長
公立雲南総合病院組合管理者
雲南消防組合管理者

速水 雄一

して参ります。

新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私の度、任期満了に伴い広域連合、各組合の管理者として引き続き選任いたしました。もとより、微力ではございますが、今後とも雲南地域の住民サービスの向上と住みよい地域の実現に向けて3団体一体となり努めて参ります。

雲南広域連合におきましては、雲南地域の広域行政組織として発足してから今年は十年の節目の年を迎えます。

広域的地域振興事業につきましては、特に、情報発信事業として広島県に向け作製した雲南地域のイメージポスター、口ゴを最大限活用し、在広島のふるさと応援団のみなさんの協力をいただきながら情報発信や観光客誘致を積極的に推進

年は「第4期介護保険事業計画」のスタートの年であり、この4期計画では、住み慣れた居宅での生活が維持できるよう、入所系サービスのほか、近年増加傾向にある認知症に対応して「認知症対応型通所介護」等地域密着型サービスなどを中心に整備を図る予定です。

また、介護保険料については、若干の値上げをお願いすることになりますが、段階設定を見直し、きめ細かな設定とすることで更なる負担の公平性を図る予定であります。今後とも介護保険制度にご理解を賜りますようよろしくお願ひいたします。

公立雲南総合病院組合につきましては、昨今の公立病院の置かれた厳しい環境の中において、依然赤字経営が続いていることに、住民の皆様には大変なご心配をおかけしているところであります。雲南省では、去年の十月に地域医療対策室を設置し、市と病院による検討会、さらに、市民の皆さんや福祉関係者等の意見も反映する必要があることから「公立雲南総合病院ありかた懇談会」も設置して検討をして参りました。地域の医療体制の強化を図って参ります。

雲南市では平成二十三年を中途に市立化の方針を打ち出し、責任を持つ経営の健全化を図らなければなりません。また、この三月には経営形態や病院の機能について、一定の方針がまとまることがあります。

現在、十八名の医師の皆様には、昼夜に亘り、地域医療を守っていただくべく大変なご尽力をいただいております。このことに深く感謝を申し上げるとともに、先生方の繋がりの中で引き続き医師にご理解を賜りますようよろしくお願ひいたします。

雲南市では、各地で地震、集中豪雨などの自然災害が多発しており、昨年の岩手・宮城内陸地震、7月、8月に全国各地で発生した局所的ゲリラ豪雨など自然災害が多発しました。また、火災においては、10月1日に大阪市で個室ビデオ店の火災により15名の犠牲者が発生しました。

県内では、5月28日松江駅北のホテルで硫化水素が発生し、大きな社会問題に発展したことは、防災機関に身を置くものとして災害の多様化を痛感させられる事案でした。

幸いなことに、雲南消防本部管内においては、大きな灾害はありませんでしたが、住民の皆様には、大きな不安を抱かれたことと推測いたします。

近年、従来では想定しがたい災害の大規模化、局所化、多様化が顕著になってきており、防災機関の災害対応能力の充実、強化はもとより関係機関との連携をはじめ、

主防災組織等を通じて、訓練や情報の共有化を一層推進して参ります。

また、高齢化に伴い救急出動件数が増加しており、救急救命士を中心とした職員の知識・技術の向上を図ることはもとより、医療機関との密接な連携を図り、更には、住民に対する応急手当の普及に努めることにより、地域の救急体制の強化を図っています。

新たな問題として「新型インフルエンザ」の発生が危惧され、救急患者の著しい増加が予想されることから、この対応に万全の体制をとれるよう、資機材の整備を進めているところであります。

一方、管内の昨年における出動状況は、火災出動が23件、救急出場が2,082件さらに救助出動が81件でした。

火災においては、ここ数年減少傾向にありますが、救急出場においては、全国に例外がなく増加傾向にあります。その概要については、急病が約6割を占め、65歳以上の高齢者の搬送が全体の約7割となっています。

また、新型インフルエンザの流行についても危惧されており、その対応についても大きな懸念事項となっています。

こうした状況の中で、構成市町をはじめ関係機関の皆様のご理解をいただき、奥出雲消防署の救急車を高度救命用資機材を搭載した高規格救急車に更新し、出動態勢の強化を図りました。

厳しい財政状況、少子高齢化、地域医療の後退など生活環境が硬直化していく中で、改めて職員丸となり、構成市町並びに消防団・住民の皆様とともに「地域の安全安心」を確保するため、精進する所存であります。

終わりに、本年が災害のない明るい年となりますことを心から御祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

新春のご挨拶

雲南消防本部 消防長 細木 経夫

平成21年の輝かしい新春を迎えて、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、平素より消防行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみると、ミャンマー連邦のサイクロン災害や中国四川省大地震が発生し、甚大な被害を与えました。

国内においては、6月14日の岩手・宮城内陸地震、7月、8月に全国各地で発生した局所的ゲリラ豪雨など自然災害が多発しました。

また、火災においては、10月1日に大阪市で個室ビデオ店の火災により15名の犠牲者が発生しました。

県内では、5月28日松江駅北のホテルで硫化水素が発生し、大きな社会問題に発展したことは、防災機関に身を置くものとして災害の多様化を痛感させられる事案でした。

幸いなことに、雲南消防本部管内においては、大きな灾害はありませんでしたが、住民の皆様には、大きな不安を抱かれたことと推測いたします。

近年、従来では想定しがたい災害の大規模化、局所化、多様化が顕著になってきており、防災機関の災害対応能力の充実、強化はもとより関係機関との連携をはじめ、

新規化されることによって、訓練や情報の共有化を一層推進して参ります。

雲南消防組合議会報告

平成20年12月24日、平成20年第2回雲南消防組合議会定例会を開催しました。今回の議会には次の議案を提出し、全て原案どおり可決されました。

議決された事項

議長の選挙について

雲南消防組合議会の新しい議長に、堀江眞氏が就任されました。

平成19年度雲南消防組合一般会計決算認定について

平成19年度一般会計は、歳入総額が1,090,024千円、歳出総額1,085,094千円となり、歳入から歳出を差し引いた額は平成20年度に繰り越し、構成市町に還付します。

雲南消防組合火災予防条例の一部を改正する条例について

引用法令である建築基準法施行令の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

議会の議員等の報酬及び費用弁償に関する条例及び雲南消防組合特別職の職員

で非常勤のものの費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

雲南消防組合の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、議員の報酬の支給方法が監査委員等の報酬の支給方法と異なっていることを明確にし、報酬の名称を「議員報酬」に改めるとともに、同一の条例で規定していた監査委員の報酬の支給について、新たに条例の制定をしました。また、地方自治法の引用条項の改正に伴い条例の一部改正をしました。